あさる野青年会議所　対内広報誌　１０月号（VOL.１６０）

THE ✿ VIEW

2011年度スローガン　粋

理事長挨拶　山本崇人　15th Anniversary

すっかり秋らしい気候となり、銀杏のおいしい季節となりました。現役の皆様は本次年度と交錯する中、日ごろの仕事・私生活に加えての快活なJC活動をしていただき感謝申し上げます。今月号も驚くほど色々な動きがあり、相変わらず楽しいJC生活を過ごしております。

JC全国野球大会

まずは前号でも触れましたJC全国野球大会に関東地区代表として参加したあきる野JCのご報告です！結果は見事！気持ちいいくらいの初戦敗退。試合内容は・・・あきる野JCのエース（K）が泣いちゃうんでやめておきましょう。当初はこの晴れ舞台を受けたものの参加人数が足らず不安な時期もありました。しかし、そこはさすがのあきる野JC！出陣寸前でとたんに人数が増え無事参加することができました。次々に入る参加表明に泣けてきました。結果は燦燦たるものでしたが参加してくれたメンバーの『良かった！』『楽しかった！』の声を聞き本当に良かったです。期せずして入った名古屋での全国野球大会は多くの協力者のもと時間も費用もかけさせてしまいましたが忘れられない1ページとなりました。名古屋入りをした11人！予選となったブロック野球大会に参加してくれたメンバーとも晩餐会を開いてみたいものです。張り切って引導してくれた野崎財務！ありがとうございました。

名古屋全国大会

全国大会は日本中から卒業生が一同に会しJCの総力をあげて卒業式をする日です。あきる野JCからは苗村君・工藤君・後藤君・大石君・小川さんと私が卒業する対象者として参加しました。続々と名古屋入りをしてくれたメンバーは最終的に合計33名！シニアからも森田歴代・小町先輩・大須賀先輩・飯沼先輩に参加をしていただきました。何度も参加している全国大会ですが、ついに私たちの番かと一つ一つのシーンを大事に過ごさせていただきました。また設営をしてくれた竹内委員長率いる渉外交流委員会の皆様には本当にご苦労をかけました。卒業式ですのでおセンチな時間もたくさんメイクしてもらいました。色々とセミナーがあったりコンサートがあったり卒業生を楽しませる会場があるのですが『決して卒業生を一人ぼっちにしない！』という気概がこもった設営でした。JCに所属していると色々な所に行く機会がありますが、私はとにかく『全国大会』は行った方がいいと思います。中々こんな年齢になってあのような経験はできません。会社やご家庭にご迷惑もかけますが、なんとか都合をつけていただき参加することをお勧めします。今回も参加してくださった大勢の皆様、本当にありがとうございました。

10月例会

全国大会から帰郷し2日おいてすぐに例会です。こちらは高橋委員長率いる青少年育成委員会の設営のもと『あきる野100km徒歩の旅』をJCから切り離すことについての説明やこの事業の長所や引き継いだ後の関わり方、今現在のメンバーの思う気持ちについてよく整理がついたと思います。7年かけて作り上げてきた今の『あきる野100km徒歩の旅』、多くの皆様の思いいれも深いこの事業来年からは少し違った関わり方になるかもしれません。が、事業の大黒柱は不変です。同じように感動し、同じように得るものが多いことは間違いありません。第8回あきる野100km徒歩の旅もボランティア集めに動き出し活動開始をしております。

アカデミー閉校式

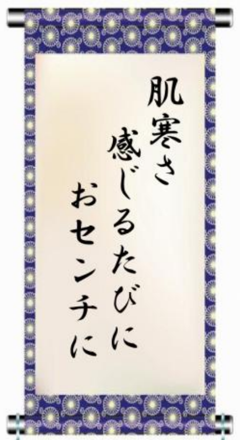
東京ブロックのアカデミーの閉校式もありました。こちらは羽村君・斉藤さん・大石君・菅野君・滝口君と来年理事になるメンバーや今年大活躍したメンバーが出向していてその最後となる閉校式でした。約1年JCや仕事その他人生勉強のような時間を経て無事に最終章となる閉校式を迎えました。登壇する彼等を見ていた多くのメンバーは親心にも似た感じでアカデミー生を見ていたことと思います。大して年齢も変わらないのに不思議な感覚です。あきる野JCの活動だけでもご苦労をかける中、見事最終まで頑張ったアカデミー生のみなさま！こちらもご卒業おめでとうございました。

理事長杯開催！

あきる野JC第28回理事長杯も開催されました。こちらはあまり多くを語るといやらしくなるので少なめに・・・くだらない個人的な夢だった自分が理事長のときに優勝する夢までも叶えさせていいただきました。こちらも32名もの参加者を募り盛大に15周年を意識した理事長杯を設営いただきました。田中歴代理事長と工藤筆頭副理事長には本当に感謝しております。参加していただいたメンバーの皆様とお話をさせていただきました。ゴルフでも釣りでもいいのですが共通の趣味や想いを持って能力向上に努めるのはやっぱりいいですね。得手不得手はありますが理事長杯はゴルフデビューにはもってこいのコンペだと思います。とにかく気楽に楽しくプレーできます。次回の幹事はこちらも乙戸歴代理事長&坂谷副委員長とこちらも贅沢な幹事ということで楽しい設営になること間違いなしだと思います。来年春の開催に向け、皆様調整をお願いします。一緒に練習に行きましょう！乗せて行ってください・・・

拡大についてのお願い

最後に皆様にお願いです。今年も1年爆走することができたのは多くの快活なメンバーがいたからです。JC活動はある程度の人数で必要です。同じような想いを持ったメンバーが増えること自体が最高の地域への貢献となります。ここ数年間は特に多くの卒業生を排出するのが私たちあきる野JCです。今後も変わらず同じような経験ができ、同じように得るものが多い団体であるために『拡大運動』を真剣に進めたいと考えております。メンバーはもとりより、ご家族の皆様、全ての関係者の皆様、ぜひともどなたかご紹介をください。あとは来年も忙しい溝呂木委員長が中心となりお声がけさせていただきます。今後のあきる野JCのため！秋川流域の未来のため！委員長を男にするため！？に『真剣に』ご協力をお願いします。



今月の一句

山本崇人の理事長川柳

〈解説〉

来年も大変な立場ではありますが卒業式まであと５０日！最後まで泥舟帆走お付き合いくださいm(__)m

スライドを使い、青少年育成についてプレゼンする坂谷副委員長

（左）JCIクリードは卒業生 苗村直前
（右）初司会を務めた斎藤咲子君

本年度監事3人がそろい踏み

10月例会　青少年育成委員会

100kmを通し、青少年育成について考える

10月5日（水）あきる野ルピア3F集会室にてあきる野青年会議所第174回例会「第7回あきる野100km徒歩の旅から伝える」〜青少年育成事業を考えよう〜が行なわれました。100km徒歩の旅は今回であきる野青年会議所から切り離し、今後は外部団体で引き続き行なっていきます。来年以降あきる野青年会議所としてどの様に100kmに関わっていくのかこれまでの100kmを振り返りながら、青少年育成委員会のプレゼンテーション、グループディスカッションを通して考えました。ディスカッションの結果は子供のみならず学生スタッフや保護者にも巻き込む100km徒歩の旅という事業の魅力や可能性をは大きく今後も協賛や事業当日の協力などなんらかの形で100kmに関わっていくべきという意見が多数でした。また新たにあきる野青年会議所が目指すべき青少年育成事業についても話し合い、「親と子が一緒に行なう事業」「物のありがたみを感じられるような事業」等、様々な意見が出され会全体で今後の青少年育成について考える、非常に有意義な時間となりました。

メンバーリレーコラム vol. 9

青少年育成委員会　齊藤　咲子君

本年度は担当の１００kmはもちろん、アカデミー研修委員会でも式根島宿泊研修に参加するなどＬＯＭ内外で大活躍中の斎藤君。来年度はＬＯＭの将来を担う拡大研修委員会にて運営幹事を務めます！！

まさか‥もしや‥のキラーパスを回してくれたタッキーありがとネ☆同じく担当事業100キロ徒歩の旅を終え少し寂しさを感じている斉藤咲子です。秋もだいぶ深まり、寒くなって来ましたが‥食欲の秋♪と言っても1年中食欲旺盛の私ですが‥。←誰か止めて〜

先日初めての理事長杯に参加させて頂き、優秀‥な成績を残して来ました♪♪コースに出るのが2回目で‥何度もお断りしようかと考えましたが、とても楽しい1日が過ごせました。ご一緒させて貰った山本理事長*孝平君*にっしー、ご迷惑かけましたがありがとうございました!!

今年のJC活動も残りわずかとなりましたが、呑み過ぎず食べ過ぎず頑張りたいと思いますw
次回のコラムは次年度委員会が一緒のひろっぴこと、瀬戸岡君にお願いします♪

次回コラムは…

総務広報委員会　瀬戸岡　広史君

11月号予告

・２号連続？卒業生特集！！
・１１月例会　能力開発委員会
・西口次年度理事長を励ます会　etc.

全国野球大会、名古屋全国大会、アカデミー研修特別委員会閉校式等の報告につきましてはホームページ新着情報にてご覧下さい。
http://www.akirunojc.gr.jp/　携帯サイトQRコード→

編　集　後　記

アップル社創業者スティーブ・ジョブス氏が５６歳という若さで亡くなりました。常に時代の先を行く発想と細部まで拘った洗練されたデザインで我々の生活に新たな価値を与え、世界を変えた数々の製品は効率ばかりを追い求める現代において異彩を放っていました。改めてその偉業に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。（E－lap）
Stay Hungry. Stay Foolish.（ハングリーであれ、馬鹿であれ。）

発行元　2011年度　あきる野青年会議所
理事長　山本　崇人
東京都あきる野市秋川2丁目6番10号田村ビル2階
平成23年10月27日発行
編　集　総務広報委員会

The round-table talk about member expansion

拡大座談会

3年で約30名が卒業を迎えるあきる野JCにとって、まさに待ったなしの状況となっている会員拡大。来年度は西口次年度理事長のもとLOMの最重要課題として取り組んでいきます。今回は本年度拡大担当委員長の溝呂木君、次年度担当の清水君のお二人に拡大について胸の内を大いに語って頂きました。

―先月の安里繁信氏講演会に向けリストを作り、予定者訪問を行なったそうですが、訪問してみて感じたことを率直にお聞かせください。

溝呂木　リストを作り地域ごとに日にちを分けて回ったのですが、留守の方が多く何度も訪問しなければならないのが大変でした。正直、予定者リストで訪問した方の手ごたえは良くないことが多いです。『以前に断わっています。』という方や最初から話を聞いて頂けない方もいるので、そういった方々には打ち解けられるように何度か訪問をする、少し時間をおいてから再度訪問するなどの対策が必要だと感じました。

　また予定者の息子さんより、お父様の方が愛想よくしゃべっていただき、『がんばって』と声をかけていただく事も多く、お父様から説得するのもひとつの手かなと思います。

　すでに例会や事業に来て頂き見込みのある方は、異業種交流会に来て頂きメンバーも交え和気あいあいとお話をして、入会に繋げたいと考えています。

―講演会当日は何名の予定者の方に来て頂きましたか？また参加した予定者の方の感想やその後の進捗状況など教えて下さい。

溝呂木　16名の方に来て頂き、多くの方から『良い話が聞けた。』、『青年会議所の見方が変わった』等前向きな感想を頂いています。すでに一名の方に入会していただいたほか、3名の方に本年度中に入会して頂けるのではと思っています。

15周年運営委員会　委員長　溝呂木奈美君

本年度15周年&拡大担当委員長の溝呂木君。来年度は日本JCの副委員長!!議案に追われる日々を送っているようです。来年はあきる野では中々姿を見れないかも?

『拡大には一度で諦めない根気とマメさが大切！！』

拡大の意義について

―現在のLOMの状況などを踏まえて、拡大の重要性についてどう考えていますか？

清水　ここ数年は卒業生も多く、現状のままでは今後会員数が減ってしまうので、最近はあきる野JCの発展・継続のためには拡大が必要だとすごく実感しています。

溝呂木　JC運動の目的は地域の発展です。同じ志を持つメンバーが一人でも多ければそれだけ大きな事業も行なえます。またJCでは様々な学びがあり、入会したメンバーは自身の成長を会社の発展にも結びつけながら活動していく

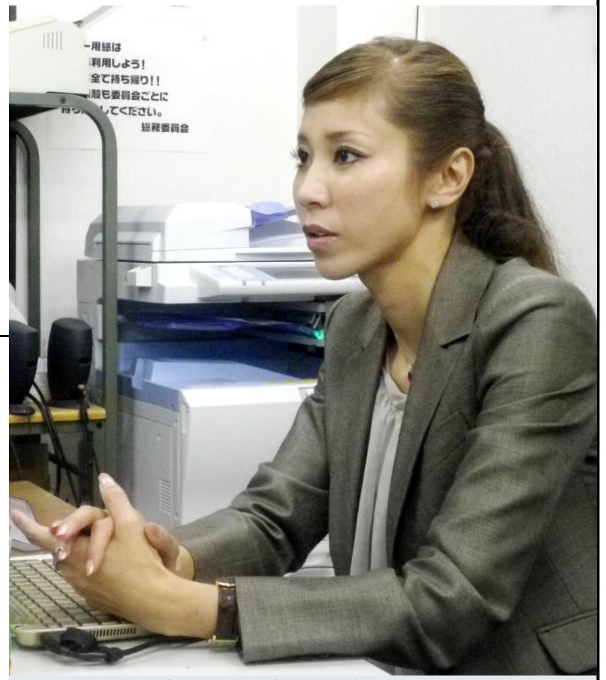
ことも出来ます。個々の会社の発展は地域の活性化にも繋がるという意味でも拡大は非常に大切だと思います。

―来年はどの様に拡大を行なっていこうと考えていますか？

清水　年間の目標を立て早い段階から計画的に行動していきたいと考えています。来年は25名拡大を目指して、2月の担当例会までには多くの方に入会して頂きたいと考えています。まずはひとりでも多くの方の情報を集め、予定者訪問を行ないたいと思います。

　ただ溝呂木委員長のお話では予定者リストによる訪問はなかなか難しいという事で、異業種交流会を始め業種別など共通点を持った方毎の交流会などを開いていきたいと考えています。

「来年の目標は25名拡大！！早い段階で結果を出したい。」



拡大研修委員会　委員長予定者　清水絹加君

来年度はLOMの将来担う拡大委員長という重役! 理事会では初々しい一面も見せていますが、個性的な委員会メンバー共々来年の活躍が楽しみです。

女性の会員拡大について

―あきる野JCではお二人を始め女性メンバーの活躍が目立ちますが、LOM内外を見渡してもまだまだ女性会員は少ないのが現状です。

溝呂木　来年は日本JCでも女性の会員拡大に力を入れていきます。今年もこれから先のあきる野JCを担えるような女性会員を2〜3名は入れたい。

清水　同性のほうが安心するし声をかけやすいと思う。私も溝呂木さんの紹介で入会したし、私の紹介で斎藤さんが入会したりと女性同士の繋がりがある。

溝呂木　やはり女性メンバーが中心となってフォローしていく必要があると思います。入会後も男性が多い中で活動していかなければならないし、例えばヒールで設営しなければならなかったりと体力面で大変な事も多く女性ならではの悩みもあります。そういった面も女性同士でフォローしていく必要があると思います。

出席率向上の為には

―現在あきる野JCは80名弱のメンバーがいますが、入会してもその後なかなか参加出来ないメンバーや、なんらかの理由で足が遠のいているメンバーも多く、最近は例会等の出席率も50%台です。その事に対してはどの様に考えていますか？

溝呂木　まず紹介者や親しい方から一度連絡を入れて頂きたいです。例会の案内等で連絡をすることも多いのですが、全く面識のない者から来てくださいと言われてもなかなか重い腰が上がらなかったりします。また来年の拡大委員会では予定者だけでなくそういったメンバーについても会社を訪問するなどフォローをしていって欲しいと思います。

清水　やはり電話だけでは、足が遠のいている期間が長いメンバーは来づらいと思うので、直接会ってコミュニケーションを取る機会を設けたいと思います。

新入会員研修

―来年は新入会員向けの研修を行なっていくとの事ですが、目的は何ですか？また現段階でどのような内容を考えているのかお聞かせください。

清水　月に1回のペースで毎月行なっていきたいと考えています。新人研修では新入会員にJCの活動や理念について学んでもらいます。その中で声掛けを積極的に行ない普段の委員会や例会・事業等に少しでも参加しやすい雰囲気を作っていきたいです。

―**今年の経験を踏まえ、**溝呂木委員長から清水次年度委員長にアドバイスをお願いします。

溝呂木　予定者はマメに連絡を取り、何度も訪問する事が大切です。「断ったのにまた来たの…」と思われるかもしれないけど、毎月例会案内をもって足を運ぶとこちらの熱意も伝わると思う。

清水　過去の資料はあるの？

溝呂木　今年作った予定者リストがあります。

―単に名前や連絡先が載っているだけのリストではなく、どういう方で例会等に何回ぐらい来て頂き、どの程度あきる野JCに興味を持って頂けたのか、こんな話をした、趣味は何々だったなど詳細なものがあると引継の際に効果的だと思います。

―最後に広報誌をご覧になる方々にメッセージがありましたらお願いします。

溝呂木　拡大はもちろん大事ですが、まずはメンバーの皆さんに例会に出てきていただきたい。そして予定者にあきる野JCの盛り上がっている雰囲気を見て頂き、多くの仲間の必要性を感じて頂きたいと思います。

清水　まずはメンバー一人一人の方を紹介してください。また情報をどんどんお願いします！！

拡大研修委員会　副委員長予定者　竹内峰範君

12月のクリスマス例会&卒業式で頭がいっぱい? 資料作成に追われ今回は発言なし・・・